

令和4年度 7月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和4年7月22日(金)
- ◎開催日時 令和4年7月27日(水) 午後3時00分～午後5時00分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 笠原教育長、北原教育長職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員、黒河内教育委員
- ◎欠席委員 なし
- ◎出席職員 馬場教育次長、宮下学校教育課長、北林生涯学習課長、早川市誌編さん室長、小島社会教育指導員、福與指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ

3 委員のひと言

- ・原田委員から、呼吸方法について情報提供。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・笠原教育長から資料に基づき報告。
(質疑なし)

第2 議案

(1) 伊那市博物館協議会委員の委嘱について

- ・北林生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

第3 協議事項

(1) 児童虐待防止マニュアルについて

- ・宮下学校教育課長から資料に基づき説明
- ・田畑委員から「次回の改定時にチャートに子ども相談室や児童相談所の電話番号を集約して記載したらどうか」との意見があった。
- ・北原教育長職務代理者から「例えば教育委員会での流れとして、直に警察はないか。」との質問に対し、笠原教育長から「基本的に事案によって、関係機関等も連絡を取り合っていくことになり、ご指摘いただいたように警察等との情報共有は常に心がけている。」、続いて酒井教育主事から「事案、状況にもよるが、緊急性があるものは、警察、医療機関等も必要であり、関係機関と連携をとって対応を進めている。」との説明があった。
- ・笠原教育長から「手引きにあたるものが機能していくには職員の研修は欠かせない。」、宮下学校教育課長から「全教職員を対象とした研修について、会場で見えていただくのは各学校2名、その他の先生はオンライン研修として実施する。」との説明があった。

第4 報告事項

(1) 令和4年度伊那市二十歳のつどいについて

- ・北林生涯学習課長から資料に基づき説明。
- ・笠原教育長から「参加される皆さんへの連絡は、具体的にどう考えているか。」との質問があり、北林生涯学習課長から「開催する場合もしない場合も通知する予定。8月1日に最終判断をして郵送で送る。できれば8月1日に決定をして、通知をしたい。」との説明があった。
- ・黒河内委員から「非常に難しい判断。他の市町村は判断の基準の日、判断基準はどんな状況か。」との質問があり、北林生涯学習課長から「レベル5に上がったら考える。レベル4なら実施する自治体もある。最終的な判断は実行委員等で検討して決めると聞いている。」との説明があった。
- ・黒河内委員から「判断が難しいだけに基準を変えると説明が難しくなる心配がある。県で指針があるか。」との質問があり、北林生涯学習課長から「県の指針はない。レベル4で延期としているが、他の自治体等の状況を見て総合的に判断したい。」との説明があった。
- ・笠原教育長から「担当は、大変苦勞しながらやっている。非常に難しいところは依然としてある。総合的な判断ができるようにご検討いただきたい。」との発言があった。

(2) 情報紙「えがお」について

- ・小島社会教育指導員から資料の説明。
- ・笠原教育長から「反応はどうか」との質問があり、小島社会教育指導員から「反応はこれから。」との説明があった。

(3) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・早川市誌編さん室長から資料に基づく説明。
- ・馬場教育次長から「市誌を編さんの中で、研究成果がまとまってきた事について、何らかの形で残すことができないか検討してほしいとの提案があり、検討をしたところである。他の自治体では研究成果を何かの形で残しながら、市誌を編さんしていくやり方をしているところもある。発表する機会を作るのも一つの方法であり、それを含めて検討する。」との説明があった。
- ・田畑委員から、伊那ケーブルテレビで、市誌編さんが進んでいる様子を、短い番組でもよいので、特番を組んで、講演会を流してもらおうなど、市民にアピールすると良い。市のホームページでも特集を組んで、様子や新発見を寄稿してもらえると良いと思う。」との発言があり、早川市誌編さん室長から「今年の1月に市報で特集を入れ、いーなチャンネルと有線放送も対応した。ケーブルテレビとは今後のデジタル化や広報的な部分に関してご相談させていただく。」との説明があった。

(4) 8月以降の文化施設等の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明。
(質疑なし)

(5) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質疑なし)

5 閉 会